

実践ライブラリー：小学部 国語・算数科「さつまのおいも」

- ・先生や友だちと一緒に楽しく勉強したい
- ・好きなことをたくさんしたい。
- ・“できた！”という実感や手応えがほしい

- ・友だちと一緒に学習に向かう力。
- ・言葉や数についての興味を広げ、理解を深める。

①歌絵本「さつまのおいも」をきいてみよう

絵本「さつまのおいも」の文章に合わせて、オリジナルの歌を作りました。歌絵本にすることで、より絵本に親しみを感じ、次のページに期待感がもてるようにしました。また、聴覚過敏により、友だちの声に不安を抱く児童がいたので、歌絵本にすることで聴覚刺激を音楽に向け、対象児の不安を緩和できるように工夫しました。



絵本では、さつまいもを「すっぽーん!!」と抜く場面、さつまいもを食べて、「くっさーい」とおならをする場面が盛り上がりました。

②「さつまいもをぬいてみよう！」

歌絵本を楽しみ、いもを抜くイメージができたので、ブラックボックスに入ってるさつまいも（布製）を抜く活動をしました。

子どもがいもを抜くときには、教師が見えないようブラックボックスの中のいもを掴んでおき、簡単に抜けないように抵抗を加えることで「すっぽーん!!」という抜いた時の手応えや爽快感が味わえるように工夫しました。



おすすめポイント

力を入れて“引張る”動作が難しい児童もいました。身体の動きを学習する機会にもなりました。

③「いろいろな数(多一少)のさつまいも」

いもを抜く活動に見通しが持てて、少しマンネリ化してきたので、いろいろな数のいもを用意し、かずの学習を組み入れました。「0」、「1」、「10」のいもを用意し、いもが「0」がのときは「ないね。」「1」のときは「少ないね。」「10」の時は「たくさん、いっぱい。」という言葉添えて、数の「多いー少ない」を実感できるような学習に発展させました。



子どもの反応

いもがたくさん取れると嬉しい!!いもが「0」の時には少し“間”ができ、「あれ？」という表情をしている児童もいました。